

環境調査結果のお知らせ

平成28年7月7日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温23～28℃、塩分28～35、溶存酸素量6～9mg/lでした。

透明度は4～7mで、有害種のケラチウム属、カレニア・ミキモトイ、シャットネラ属、ヘテロシグマ・アカシオが少数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温22.7～27.7℃、塩分27.7～34.5でした。

前回調査時(H28.6.16)と比較して、水温は表層から10m層で0.5～2.6℃上昇しました。塩分は2m層で0.4上昇し、5m層で0.3低下し、底層で0.3上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量5.7～8.5mg/lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.9～1.3mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.0～6.6mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なケラチウム属(C.フルカ+C.フスス)が最高で3cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で1cells/ml、シャットネラ属が最高で1cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で最高で1cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

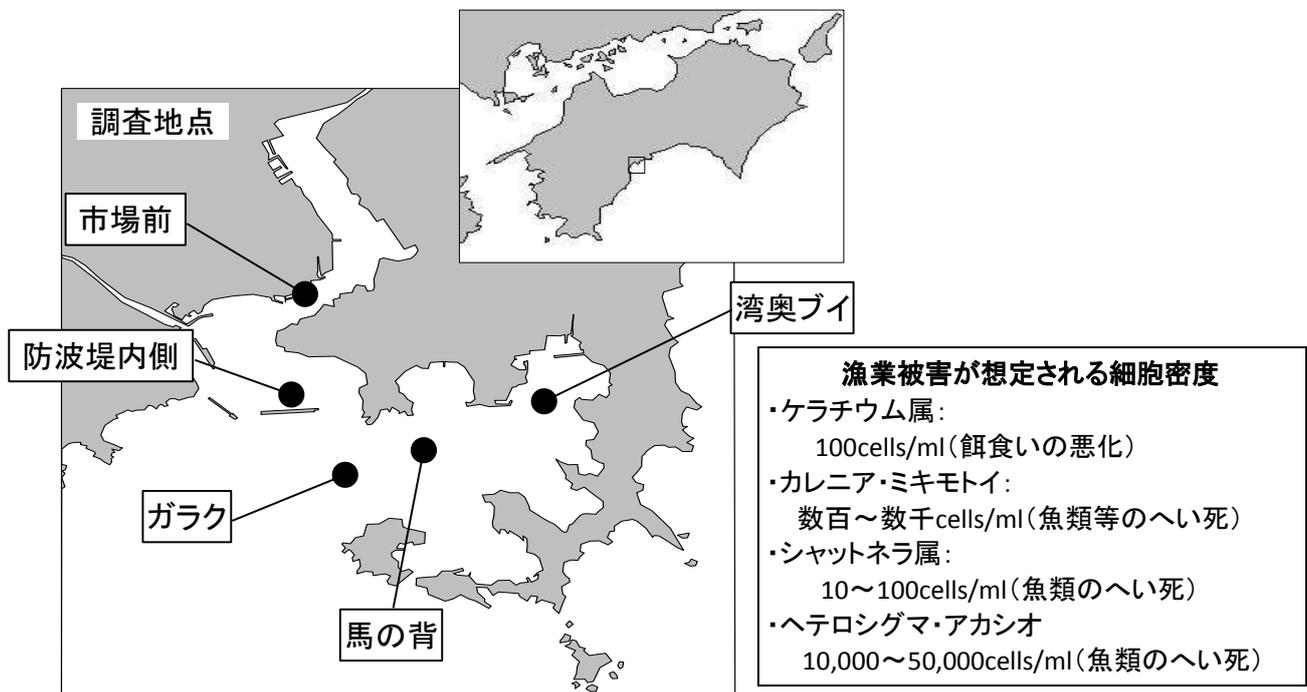


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.6.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	27.7	27.2	27.5	27.6	27.4	24.8	2.6	27.4
2m	26.6	25.8	26.4	26.7	26.3	24.8	1.5	26.7
5m	25.3	25.1	25.2	25.3	25.2	24.1	1.1	25.4
10m	24.5	24.2	23.8	24.2	24.2	23.7	0.5	-
B-1m	23.5	22.7	23.2	23.5	23.1	23.3	▲ 0.2	24.6

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.6.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	30.4	31.3	30.9	27.7	30.9	30.9	0.0	27.9
2m	31.5	32.4	31.8	31.0	31.9	31.5	0.4	30.1
5m	32.6	33.0	32.8	32.6	32.8	33.1	▲ 0.3	32.5
10m	33.4	33.8	34.0	33.7	33.7	33.7	0.0	-
B-1m	34.1	34.5	34.3	34.2	34.3	34.0	0.3	33.3

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.6.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.4	7.2	7.2	8.5	7.3	6.2	1.1	8.2
2m	7.3	7.1	7.1	8.0	7.2	5.9	1.3	8.0
5m	7.1	7.0	6.9	7.5	7.0	5.8	1.2	7.6
10m	6.9	6.8	6.8	6.9	6.8	5.7	1.1	-
B-1m	5.8	6.5	6.8	5.7	6.4	5.5	0.9	6.7

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.0	24.6	15.3	16.2	9.1
透明度	5.5	6.0	6.6	4.0	2.5
前回(6/16)	5.0	3.5	6.0	4.0	3.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		ケラチウム属	カレニア・ミキモイ	シヤットネラ属	ヘテロシグマ・アカシオ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	2,850
	2m	0	0	0	0	2,650
	5m	1	0	1	0	1,500
馬の背	0m	0	0	0	0	1,250
	2m	0	0	0	0	1,250
	5m	3	0	0	0	1,650
ガラク	0m	0	0	0	0	850
	2m	0	0	1	0	800
	5m	0	0	0	0	1,000
津波防波堤内側	0m	0	1	0	0	9,700
	2m	0	0	0	1	6,900
	5m	1	0	0	0	2,300
市場前	0m	0	1	0	0	9,800
	2m	0	1	0	0	5,300
	5m	0	0	0	0	3,450